

関東同窓会のホームページがオープンしています。ご覧ください。

<http://www.h5.dion.ne.jp/~uedakant/>

関東同窓会のe-mail。近況をお知らせください。

uedakant@m4.dion.ne.jp



10分野15人、職業意識高める狙い

1年生363人、「役に立った」

OB社会講座開講

関東同窓会が提起し、本部同窓会などと連携して母校の生徒たちに総合学習の一環として進める「OB社会講座」が9月18日に初めて開催された。学校側との協議で今回は、

1年生三百六十三人を対象とし、さまざまな分野の職業の楽しさと厳しさを、その職業選択のために必要な勉強など各界の専門家が伝えるのが目的(2、3ページに詳細)。

生徒のアンケートにより、教育・福祉・保安、国際関係、事務・サービス、法務・経営、マスコミ・芸能、芸術・デザイン、エネルギーの10分野について、15人のOBが講師となり、生徒は希望する講義を受講する方式で行われた。本部同窓会が関東、関西などと連携して募集したOB 50人近くから15人を推薦。関東からは森浩一(52期、マスコミ)、丸山俊二(54期、国際)、甲田洋二(56期、芸術)、赤池三男(58期、公務)、川上知行

(60期、サービス) 滝澤雅男(61期、環境)の6氏が参加した。各講師は1時間半の講義の中で、高校時代のサークル活動や仲間との交流の思い出なども交えながら、学ぶことの大切さ、自分の夢に向けて努力する意義を具体的な職業体験を通じて生徒たちに語った。

受講後のアンケートに生徒の8割が、「今後の進路選択を考えるのに役に立った」と答えている。小山校長は「初めての試みであり十分な点もあったかと思うが第一歩を踏み出したことに大きな意義がある。生徒も職員も先輩の存在の大きさに圧倒された感もある。意義のある企画を来年度以降も続けたい」と感謝の弁を伝えてきた。同窓会では学校側と協議し、今後も多くの分野で活動する同窓生に講師としての参加を呼びかけて行く方針だ。

第42回総会 212人参加!



56期甲田洋二さん(画家・武蔵野美大教授)製作の表紙

学区変更校長報告に関心

和気あいあいの懇親会

第42回総会は7月12日(土)午後、神田一ツ橋の如水会館で開かれ、会員199人、笠原一洋本部長、小山寿一校長ら来賓8人、新卒の101期生5人の計212人が参加した。第1部総会では会務報告で西麻布に活動拠点として事務所を開設、パソコンの購入などにより執行費用が増大したことなどを報告、また新年度は「OBによる母校への社会講座の実施」や「会費納入・組織拡大の推進」などを柱として活動する計画を承認した。

小山校長は母校の近況や長野県の教育状況を報告。OB講座の推進に強い期待をよせるとともに、来年度からの4学区制で、高校間の競争が強ま

ることが予想され、「文武両道」「自学自習」を大きな柱として特色を生かし、伝統の上に魅力ある学校を目指す、との決意を述べた。

第2部の懇親会では石井会長が「同窓会を軸に楽しい企画を実現し交流を深めよう」とあいさつ。会場ロビーで行われたチャェルノブイリ募金活動(別記5ページ参照)に併せて、現地で医療活動に献身した60期菅谷昭さんあてに読売新聞文化事業部から四つ切写真が石井会長に贈られると大きな拍手が沸き起こった。

和やかな歓談の輪が広がり、午後6時すぎの散会後も同期の2次会へと場を移すグループも多かった。

OBによる社会講座

今回の社会講座は、早い時期に職業に対する意識を高め、自分の卒業後の進路や文理選択を考える大きな契機にすることを狙いとした。生徒は自分の興味に応じて15講座から関心

のあるものを一つ選んで受講した。自分の聞いた講座以外はその内容を知らることができないので、今回開かれた15講座の概要を紹介する。これはその参考資料で、これからの進路選択に役立ててもらいたいものである。

《詳報》

第1講座 (教育・福祉Ⅱ 国際問題・文化比較など)
49期 堀内 守さん
(名古屋大学名誉教授)

高校時代は新聞班、英語クラブで活動、ドイツ語の授業もあった。進路選択では当初文系に進むつもりだったが、あるきっかけで理系に変更、大学、大学院で

数学、社会心理学、数理哲学から思想史、教育学まで幅広く学んだ。社会行動数理は選挙予想や世論調査に役立つ。国際関係ではチェコに留学したことから国連などの仕事の経験を紹介。文系・理系に偏らず幅広い視野での勉強が必要だ。「不得意科目を得意科目にすることは可能だ」(生徒の感想) 広い視野で物事を見るようにしなければいけない。国際的に目を向けているような角度から見渡していてすごいと思っ

第2講座 (教育・福祉Ⅱ 臨床心理・カウンセリング)
52期 奥 紀子さん
(臨床心理士・大学講師)

上田高校当時を上田松尾の女子第1期生。高校時代文系科目が得意だったが適性検査は「理系向き」と出て医学部受験。浪人中に心理学に興味を抱き現在の道へ。スイスのユング研究所に留学したが、ほとんど毎日、夢分析を英作文し

ていた。臨床心理士は現在非常に人気の高い職業になったが、大学で6年間の勉強、カウンセラー業務など仕事は厳しく大変で就職口も厳しい。「科学が忘れてきたものを拾って行くのが心理学。人の心と向き合うことは自分の心と向き合うこと」

(生徒の感想) 臨床心理士の仕事の大変さが分かったが、それ以上に魅力のあるものだとわかった。人の役に立つことができるというのは仕事を選ぶ上で大事だと思いました。高校卒業後に進路を変えたと聞いて、人生の転換期がいつ訪れるか分からないと思っ

第3講座 (医療・保険Ⅱ リハビリ・整形外科手術)
57期 大塚 訓喜さん
(整形外科医)

リハビリ医学とはどんなことか。脊髄の解剖学、脊髄損傷の特異性とリハビリ、障害に対する基本的なアプローチなど。脊髄損傷で寝たきりの患者がリハビリで社会復帰できたこと。人間の潜在的な能力の可能性を実感する。職業選択にあたっては、自分が何をしたいか良く考え、そして努力する。望みがかなうことは少ないが悲観することはない。なりたいと思ったら突き進む、一生懸命やるのは面白いものだ。「棒ほど願って針は

ど叶う。でも繰り返し訓練すると脳に回路ができていろいろなことができるようになる」(生徒の感想) 難しい話だと思っただけ、とても分かりやすい講義だった。リハビリテーションについてもいろいろな種類があり、知らないことを細かく知ることができるともタメになった。

第4講座 (医療・保険Ⅱ 臓器移植・医療全般)
76期 池上 俊彦さん
(信州大外科医)

医学の道を選んだのは理系が得意でもネクタイをするような仕事が嫌だったから。また社会的ステータスが高く、金持ちになりたいという魅力も感じた。だが、現実には大学の先生は「金持ち」ではない。最近では医者に対する世間の見方は厳しい。やりがいはあるが自分の時間も取れず大変だ。信州大における生体肝移植の歴史。28歳の頃、有名な幕内先生が信大に来て始めた。後半20分ぐらいは移植手術のビデオを見せながら手術の実態を解説。生徒たちが悲鳴を上げる場面も。「医者にはもちろん技術も必要だが、人間性や人との接し方も非常に大切である」(生徒の感想) 移植をするところで今まで助からなかった命も救われるようになった。生体肝・脳移植などのメリック・デメリックも分かった。ビデオによる移植手術の実際

第5講座 (公務・保安Ⅱ 税理士・会計士)
58期 赤池 三男さん
(税務大学教授・税理士)

厳しい経済環境のなかで専門的な資格を持つことの重要性。社会における税理士・会計士の重要性、その業務内容。どんな会社、どんな職業につ

くにしても自分の能力が問われる時代であり、給与も能力中心に変化してきている。自己をアピールできる能力や資格を持つこと、自分に付加価値をつける必要がある。そのため勉強の進め方。インターネットの普及で今までは不可能だったサービスが可能になるなど社会の変化が目覚ましい。そうした時代の変化を良く知ること。「高校時代、部活が大変でも家に帰ったらしっかり勉強しておかないといけない」(生徒の感想) 班活動が大変でも帰宅したらしっかり勉強しろ、と言われかなりきつかった。今の自分を反省した。

第6講座 (国際関係Ⅱ 国際関係の仕事)
68期 竹内 俊隆さん
(大阪外国語大学教授)

高校時代は柔道、大学では少林寺拳法と部活に打ちこんだ。高3の12月には「進学する気があるのか」と言われた。浪人時代、東京の空が黄色に見える公害を学ぼうと衛生工学科のある京大工学部に進学し





た。その後、米国に留学、国際関係の仕事に携わるようになっていった。国際関係の仕事をするにはまず主体性、積極性が重要だ。自分の意見を主張できる精神的なエネルギーが必要で、知識、教養、技術に加え気力と体力がものを言う。英語を身につけるには最低2年の留学、仕事に使えるには3年は欲しい。君たちにとって世の中は知らないことだらけ、好奇心をもって学んでほしい。

「主体性をもってやる。グローバルな仕事では意見を述べる積極性がある」

(生徒の感想) 国際的な仕事をやる上で一番必要なのは「主体性」だと分かった。内気な日本と外国は正反対の国なのか。実際に海外体験をした方の話を聞き関心が深まった。

第7講座 (国際関係Ⅱ 外交官の仕事・国連)
54期 丸山 俊二さん
(前外交官・元大使)

高校時代は4年上の兄に比べられ、複雑な思いも抱いた(兄の丸山英一さん)。51期、政策研究大学院大学教授、理研国際研究センター長)。海外で活動したいと思いい外交官を目指した。外交官になるにはまず国家公務員I種に合格しなければならぬ。

外務省では、JICA、

国連などのほか、多くの国々に赴任した(赴任先の国の事情を紹介)。長い海外生活を通じて英国の強さ、その第一の武器は英語だということを変更して認識した。英語を自由に操ることが第一条件で、言葉が通じないと家族ともども苦労する。さらに赴任先の言葉をマスターし、その土地土地の風俗・歴史を学び、体力があることを示さないと集団の中に入らなければならない。

(生徒の感想) 国連で働くには英語が話せば良いと思っていたが、それだけでなく思考力も重要と認識した。やりがいのある仕事だと思う。

第8講座 (事務・サービ スII ヒンズマンの心得)
60期 川上 知行さん
(アルバイン 執務)

学生時代は最も時間があるときだから、高校時代に心身を鍛え、先生をどんどん利用する。鉄は熱いうちに打て、を忘れずに。赤井電機、アルバインと電機業界のセールス畑で仕事をし、世界を見てやろうと思った。セールスマンは高級でハッピーな仕事であり、いんちきな世界ではない。日本全国、海外へと歩き、その地域によって性格が違うことを把握した(北海道から九州まで各地の違いを例示)。地域の文化を知ることです。ルスの7割は成功する。異業種の人たちとの交流も財産になる。

(生徒の感想) 学生が一番時間があるから心身を鍛えられると教えられた。外国に行くときは国の特徴を知っておいた方が良いと思った。

第9講座 (法務・経営II 法律の話・弁護士の仕事)
70期 滝澤 修一さん
(弁護士)

裁判には民事・刑事の2種類がある。刑事では交通事故の検証で弁護士が現場で調査するケーススタディを、民事では倒産、サラ金など民事処理のケーススタディを紹介。弁護士に進むための司法試験は厳しく現在は2%の合格率である。最近司法改革の動きが速くなり、法科大学院制度など変化している。高校時代は人類の智慧の継承である古典を読んでほしい。また、不正を許さない信念を持つてほしい。「百人の有罪を逃しても一人の無実の人を裁かない」

(生徒の感想) 弁護士という職業は、なるのも難しいがその仕事も大変ハードだと分かった。デスクワークがほとんどだと思っていたら、外の仕事が多いことにも驚いた。危険なこともあるがその分やり甲斐もあるのだろう。

第10講座 (マスコミ・芸能II 新聞・報道)
52期 森 浩一さん
(元毎日記者・スポニチ前社長)

新聞社の組織と新聞、放送、出版、映画、広告などメディアの歴史を紹介。ジャーナリズムにおける新聞は報道評論の伝達といった《公的情報的》なものが中心なのに対し、テレビは娯楽、教養、趣味を中心とした《私的情報的》なものが中心になってきた。現在はさまざまなメディアが融合してきている。新聞社の仕事は大変であり、記者は身体が丈夫なこと、食べ物の好き嫌いがなく、どこでも寝られることが適性要件。誇りを持ってできるやり甲斐のある職業だ。

(生徒の感想) 毎日家に届く新聞の裏側で大変な仕事をしている人たちがいることが分かった。森さんが自分の仕事に誇りを持っているように、私も将来誇りを持って仕事を見つめたい。

第11講座 (マスコミ・芸能II 報道・テレビ放送)
61期 中島 克彦さん
(SBC 報道局長)

メディアとは人の心、精神活動に働きかける仕事であり、「知る権利」に応える活動である。メディアの世界を志す人に求められるのは①人に会うことが好き②瞬発力・ずく・粘り③好奇心・探求心④正義感・倫理観であり、努力と鍛錬を通じて人と社会に強い関心を持ち、素朴な疑問を論理的創造力で深め、物事の裏を読み取り、本質を見極めるよう努めていく必要がある。思考は冷静に、だが心は温かくなければならぬ。放送の世界ではいま倫理問題が課題になっている。プライバシーの侵害、名誉毀損、青少年への影響、性の商品化などが取り上げられ、制作手法では「やらせ」や過剰演出などが問題になる。放送基準の見直しなどを進めている。

的創造力で深め、物事の裏を読み取り、本質を見極めるよう努めていく必要がある。思考は冷静に、だが心は温かくなければならぬ。放送の世界ではいま倫理問題が課題になっている。プライバシーの侵害、名誉毀損、青少年への影響、性の商品化などが取り上げられ、制作手法では「やらせ」や過剰演出などが問題になる。放送基準の見直しなどを進めている。

の学生たちはバレエやコンサートへの鑑賞意欲が高いことを知った。今は日本各地やモスクワで演奏活動を続けるが、自信を持ってプラス思考で目標を持って進めばどんなことも辛くない。「まず好きなことを見つけ、目標を高く持つて進みなさい」

(生徒の感想) 目標を大きく持ちその目標のためならどんなことでもつらいと思わないということを教えられた。自分の自信を裏付ける努力をしていきたい。

第13講座 (芸術・デザインII 芸術・美術)
56期 甲田 洋二さん
(武蔵野美術大学教授)

武蔵野美術大を卒業しドイツへ留学したことなど略歴を述べ、自分の作品をスライドで紹介。上田は近代以降、日本の美術では中心的な場所である。農民美術の山本鼎、彫塑・油絵の石井鶴三の存在があり、日本画壇の重鎮として知られる岡鹿之助が上田で指導したこと、上田が日本美術界に大きな貢献をしてきたことを知ってほしい。

進路選択を早く決めるべきだと話題になるが、私はあまり若いときから進路を決めてもあてにならないと思っている。計画に沿って無駄なく進むことの方が稀である。問題は物事に対し一生懸命やる必要があると必ずどこからか救

いの手が差し伸べられるものだ。
(生徒の感想) 熱いメッセージが素敵だった。学生時代の話などとても面白く聞かせてもらった。

第14講座 (研究・技術II)
建築士・事業経営)
 69期 佐藤 俊幸さん
 (一級建築士・佐藤ニューズ社長)

家は明治42年開業の軽沢のシューズ店。現在は軽沢に3店、御殿場に2店、舞浜(千葉)と鎌倉に各1店を持っている。はじめは家業を継ぐつもりはなく、大学で建築の勉強をし、卒業して4年間、建築関係の仕事についていた。1級建築士の資格も取り、これからというときに、親にだまされ後継者になった。近所の人からは「折角1級の資格があるのにもったいない」と言われ、営業で人に頭を下げなければならぬときは苦痛を感じたこともあった。しかし事業を経営するというのは、地域の人々を雇用し、その家族の生活も保障しなければならぬわけで、社会に大いに貢献する大変にやり甲斐のあることだと今は認識している。厳しい時代だがユニクロやソフタバの成功の話などがあると、それを目標に講演を聞きに行くなど勉強している。**(生徒の感想)** 雇用了人やその家族の生活保障など経営者は大変なことも多いと思うけれど、やりたいことを実現できるのは面白いと思った。

第15講座 (エネルギー問題・環境II 地球環境)
 61期 滝澤 雅男さん
 (正三井物産・国際社会貢献センター)

高校時代はサッカー部で国内にも出場、班活動は素晴らしい思い出。理科に興味を持ったのは中学の担任の影響で東工大の応用化学に進み、卒業後三井物産に入った。主に石油製品の輸出入の業務に携わり、米国、中東など世界を飛び回った。どこの世界でも英語ができればほとんど通じるし、英語ができなければどうにもならない。商社を退職するところから地球環境問題が世界的な課題になってきたが、自分が石油の仕事に関係してきたこともあり、国際貢献活動のテーマにしている。地球環境の最大の問題は「温暖化」で、二酸化炭素の排出が原因。この問題を取り上げた「京都議定書」がまもなく発効するが、最大の排出国アメリカが調印しないことがネックになっている。生徒の皆さんには、本をたくさん読み、受験勉強を面白がってやり、特に英語はしっかり学んでおくべきだとアドバイスしたい。**(生徒の感想)** 商社での実際の仕事など企業の中身についてはあまり聞いたことがなかった。大学卒業後の進路を考える上で参考になった。英語はどこにでもついて回るのだと痛感した。



野球部が東信大会優勝!

阪神優勝が決まる5時間ほど前に、本校野球部が東信大会で優勝を決めました。一昨日の準決勝で上田西高を7対1で破り、昨日の決勝では佐久長聖高校を8対7で撃破。実に15年ぶりの優勝だそうです。決勝戦は、8回の表まで0対7でリードされ、敗色濃厚でしたが、8回の裏に4点、9回の裏に4点を奪い、逆転さよならの劇的な勝利でした。甲子園への道は果てしなく遠いと思いますが、甲子園に向かって一歩歩き出したことをご報告いたします。 9月16日 小山寿一校長

平成15年度県高校総体結果

- 陸上 (男子) 槍投げ7位、(女子) 1500m5位、3000m4位
- 柔道 (男子) 団体2回戦敗退、90kg級3位、5位 (女子) 63kg級ベスト8
- 剣道 (男子) 予選敗退 (女子) 団体予選敗退、個人ベスト16二人
- ソフトテニス (男子) 団体ベスト8、個人9位、14位 (女子) 団体1回戦敗退、個人ベスト16
- テニス (女子) 団体1回戦敗退、個人1回戦敗退
- バスケットボール (男子) 1回戦109-39 (松本第一) 2回戦74-80 (長野日大)
- バレーボール (男子) 1回戦0-2 (東海大三)、(女子) 1回戦2-1 (諏訪清陵) 2回戦0-2 (松商)
- ハンドボール2回戦25-12 (松本第一) 準決勝10-11 (屋代) 三位決定戦13-9 (野沢北)
- 卓球 (男子) 団体1回戦敗退、個人予選敗退 (女子) 団体1回戦敗退
- 弓道 (男子) 団体/個人予選敗退、
- サッカー2回戦0-0、PK4-3 (屋代)、準準決勝0-4 (松商)
- 空手 (男子) 団体組手4位、団体形予選敗退、個人組手北信越出場 (女子) 団体組手2位、団体形6位、個人形3位、個人組手2位
- 山岳 (男子) 4位



第2回ゴルフコンペに8組32人

昨年12月に続き、第2回懇親ゴルフコンペが11月26日(水)、千葉県印旛村の泉カントリークラブで開催されました。石井会長夫妻をはじめ昨年優勝の54期田村朗さん、最年長の46期水澤博さんから若手?の69期古畑克己さんまで32人が参加、最も多かったのは55期の9人。腕に覚えのシングルクラスから野原に出るのが何より楽しみのエンジョイ派まで4組ずつに分かれ晩秋の1日を大いに楽しみました。会報の締め切り時点では成績を掲載できないのが残念ですが、結果は次号で報告の予定ですので楽しみに。 第三回コンペを3月25日(木)に埼玉ゴルフクラブで10組40人を集めて開催する予定です。奮ってご参加を!
 (ゴルフ幹事、宮島光男)



Imaginations are free and fun, and excitements more wonderful and much greater.

“発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく”

- Mr. Children
- Sugar
- BUMP OF CHICKEN
- ゆず
- ケツメイシ
- RAG FAIR
- ソニン
- melody.

株式会社トイズファクトリー
 代表取締役 井出孝光



菅谷 昭
Akira Sugaya

チェルノブイリの いのちの記録

NHK総合テレビ
「プロジェクトX」放映!

自らの人生をかけ、原発事故後の被災地に飛び込んだ

原発医療基金に16万円寄付(総会当日)

総会開催中、会場ロビーではチェルノブイリ原発の後遺症に悩む現地の子供たちと、その治療にあたる菅谷昭さん(60期)の活動の写真が展示され、同期の川上知行さんらによる募金の呼びかけが行われた。

菅谷さんの活動は5月にNHKのプロジェクトXで紹介され、大きな感動を呼んだばかり。会場でのカンパ84,670円、書籍の-margin29,925円の計114,595円と、菅谷さんが母校講演で生徒会から贈られた謝礼5万円を本会に寄贈されたため、これを併せて総額164,595円を本会と上田高校生徒会の連名でNPO「チェルノブイリの天使たち」に寄付させて頂いた。皆様のご協力に心からお礼申し上げます。



The Town of a photograph

写真のまち上田 イベント紹介

上田市、「写真のまち」
として売り出し中!

「ハリー・K・シゲタ その人生と写真」展

10/23(金)~11/24(日)

ハリー・K・シゲタ(1887~1963)は、15歳で渡米し、数々の困難を乗り越えながら米国社会に溶け込み、商業写真家として活躍しました。アメリカでの現地調査の成果を踏まえ、これまで明らかにされなかったシゲタの人物像にもスポットを当てます。

シゲタ展は、没1年後の1964年以来、出身地上田で39年ぶりの開催です。

【会場】上田市立博物館(上田城跡公園内)

【期間】10月23日(木)~11月24日(日)

AM8:30~PM5:00(入館はPM4:30まで)

(水曜及び祝日の翌日は休館、ただし10月は休館日なし)

【構成】第1部:写真家シゲタ...シゲタの写真家としての業績を振り返ります。(写真点数26点)
第2部:シゲタの素顔...シゲタの撮影中の表情など被写体としてのシゲタを紹介するとともに、膨大な資料の中から、シゲタの人間性や仕事に対する姿勢なども明らかにし



映画のまちとして有名な上田だが、最近は「写真のまち」としてもPR中。そこで活躍するのが我らが同窓生。ハリー・K・シゲタ氏(68号で紹介)と石井正彦氏(52期・元文芸春秋写真部長)の展覧会が開催された。石井氏の講演も開かれた。



石井正彦氏



長崎茂雄ファミリー

石井正彦 写真展・講演会

写真展:「20世紀を創った人達」

■上田市観光会館 2階展示室 11月14日(金)~11月24日(日)

講演会:カメラが見た「日本を創った人達」

~雑誌カメラマン40年~

■上田市民会館 2階大会議室 11月15日(土) PM1時30分

52期 矢島渚男氏が 俳句の四季大賞を受賞

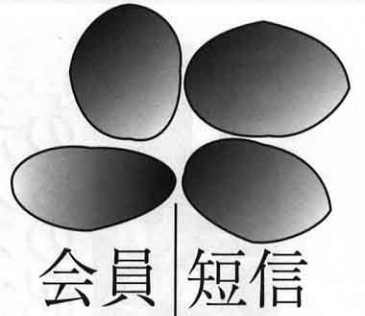
52期の矢島渚男氏(丸子在住)が第三回俳句「四季大賞」を受賞した。それを機に上田松尾、昭和29年卒業の1組、関東在住の有志十人が授賞式前日の7月6日、新橋の中華料理屋に集まった。

卒後、49年ともなると、さすがに半数が第一線リタイアの身だが、現役で忙しいはずの医師・花岡修三は長野市から、同田口修三郎が市川から診察の合間をぬって参加。大量の昼酒で矢島氏を祝い、お互いの近況報告に花が咲いた。

矢島氏は母校で教鞭を執ったことがあるので、OB、OGの中に教え子も多い。本名の「薫」と俳号の「渚男」が同一人物とは気がつかなかったり、逆に気さくな彼が身近すぎて俳句の世界で大きな存在であることを同年生でも知る人は少ない。芭蕉、蕪村の研究や俳句評論では既に地歩を固め、朝日新聞長野版の俳句選者を務める一方、「梟」を主宰、句作でもいまや最高峰とされる。上田出身で芭蕉亡き後の江戸時代正統派俳人、加舎白雄(かやしらお)を改めて世に出した人は何人もいるが、なかでも矢島氏の功績は大きい。

「四季大賞」の受賞理由は、最近の句集「延年」とされるが長年、立派な句を生んできたことが今回の受賞につながった。授賞式は7月7日、霞ヶ関の東海大校友会館ホールで行われ、斯界の著名人三百余人が出席、矢島氏の栄誉を讃えた。

(52期 赤池 孝之記)



会員 短信

◆中澤亮太(33) 上田高校関東同窓会に弥栄あれ！年並みに老化進行中です。先輩は当然のことながら同期の仲間の先立つもの多く、残りは少なくなり、小生老骨に鞭打って、偶には「秋玲瓏」と歌う積もりも今年も都合で欠席とあいなりました。諸氏のご健闘を祈る。

◆山本五介(36) 脳梗塞のせいで忘れっぽくて困っています。

◆滝澤克己(36) 年相応に元気です。未だ学会や研究会にも出かけ、ゴルフ(東京よみうり)Cコース委員長やついでいます。ゴルフコースをテーマに工学博士(東工大景観工学)を貰いました。武蔵、旧軽GCもメンバーです。でコンペの折はお手伝いします。

◆清水志郎(37) いつもご苦労様です。上中、上高出身者の奮闘心強い気持ちです。役員一同のご健闘祈ります。(東京都俳句連盟理事)

◆大塚次郎(37) 80歳以上は会費免除との事、小生も80歳以上になりましたので、15年度より納めませんので宜しくお願いします。(長い間ご協力有難うございました)

◆岡 清助(37) 稽古着の汗脅まで滲みており、柔道クラブ同年の友10人、健在2人。昭12年県大会で準優勝、先生依田誠七段(当時)。

◆菊池 博(39) 傘寿を過ぎましたが元気で診療を続けています。

◆牧内正志(39) わが同期すべて齢80、戦いに散華し友はるかになり。

◆小平一彦(40) ご一同様の健康と母校の発展をお祈り申し上げます。現在健康を害しておられますので、総会は欠席します。

◆吉池 一郎(40) 今年中に80歳に。戦中は技術将校として航空機用レーダーに関わり、戦後NEC、電電公社、アンリツ等転々とした。今日の日本は有事法制の成立など軍国化に向かっているが、過去の過ちは忘れるべきでない。上中時代が懐かしい。

◆井本公一(40) 体調不良にて毎回欠席。悪しからず。

◆古松 彰(41) 元気です。会の益々の隆盛をお祈りします。

◆長谷芳樹(41) 少々体調崩しています。

◆生島信夫(41) 各分野の動向と独創の重みに留意された斬新な企画は、読み手に大いなる感銘を与えます。編集から発送までと携われた方々のご労苦が目にと浮かび感動を覚えます。勇氣、共感、励ましを戴き、自己を刷新する座標軸ともなります。健児諸氏の活躍は称えられ、事例を挙げての数々の賛辞は深く心にしみ入ります。今、研究団体の理事長に押され「知の創造」を試みています。惹かれるは関東同窓会、エールを送ります。

◆金子保夫(42) 仕事の都合で横浜市の住所を事務所としておき、上田市に転入しています。

◆丸山仁志(42) 6月18日軽井沢星野温泉で卒業60周年記念懇親会が開かれ出席予定です。久しぶりに会う友人も何人かいると思ひ楽しみです。

◆六川英夫(42) いつもお世話

になり有難うございます。

◆岩下 實(42) 至極元気です。総会は野暮用と重なり残念ながら欠席します。

◆傳田信夫(43) 当日陸士閣係会葬のため欠席します。

◆平林 直(43) いつもお世話になっております。体調不良で病院通いのため欠席します。

◆清水雅夫(43) 遠距離の一人の外出は慎んでいます。母校の発展と同窓会の盛会をお祈りします。

◆工藤周介(44) 年相応に元気で人生の午後を楽しく生きております。

◆小山厚三郎(44.5) 病後療養に専念中現在入院中です。ご盛会を祈ります。

◆滝澤源平(44.4) ご盛会を祈念申し上げます。

◆掛川暉夫(45) 九州の大学勤務を終え上京、現在横浜の国際親善総合病院に勤務、既に8年を経過しました。現役で頑張っています。

◆六川真澄(46) いつももの非礼お詫び。何かと為す仕事を手間取る歳になって日々の仕事に追われる毎日です。

◆水沢 博(46) 人生劇場3幕目、8年間公演中。ご盛会を祈ります。

◆佐藤 信(46) こんな事申し上げても致し方ない事です。が、私たちの時代に比べて優秀校への合格率が低くなっており、母校への愛校心が低下しているのは、私だけでしょうか？

◆田沢 徹(47) 5月31日に勤務先(多田プレス工業)

を退職しました。(非常勤監査役)

◆牧内 操(47) 毎日午前中は、ヨガ、真向法体操、ウォーキング。昼食後通勤途中の車の中で約1時間くらい、ぐっすり昼寝して出社。夕方から接客接待、或いは若い社員と美味しい酒を楽しみ、帰宅する車中で又ぐっすり寝込む。お蔭様で元気です。

◆上野平八郎(47) 事務局の皆様ご苦労様です。中々出席できず申し訳ありません。

◆豊城 乾(47) 会費納入遅れてはしましたが5年分送金しました。宜しく願います。(1万円円有難くお受けしました。事務局)

◆城下栄三郎(48) 皆様に宜しく。

◆半田幸一(48) 残念ながら欠席。仕事の方は開店休業というところで困ったものです。4、5年前から腰椎からくる脚が悪く今年是最悪です。目下毎日通院中です。

◆小本曾誠(48) いつもお世話様。6月10日に再手術のため欠席します。ご盛会をお祈りします。

◆小山正徳(48) 会費納入明細を個人宛送付は大変に良いアイデアです。(二層のご支援をお願いいたします。事務局)

◆中澤利夫(48) 72歳人生の心がけ。健康保持に努め、諸事に関心を持ち感動を体感し日々素直に感謝しながら楽しく過ごしたい。受給年金が2004年度より改正に注目を！高齢者の生活が危ないぞ！

◆堀内 惇(48) 意見を一つ。会費の納入を増やすには各期の代表幹事に一層努力して貰うの

が良い。会報の座談会出席者には卒業期と職名を付すのみにして出身大学名などは無いほうが良い。(意見有難うございました。編集部)

◆掛川周男(48) 幹事様毎々お世話様です。

◆宮坂啓象(49) 新発田市役所6月30日退職します。7月より住所は戸倉町の方に移します。(新潟ご在住中、ご協力頂き有難うございました。事務局)

◆加藤 毅(49) 財政状態悪いとの事、心配しております。会費納入3、4期未納の場合は名簿より外す等の荒療治をしないと駄目だと思ひます。(常時会費納入者は会員の1割、600人前後ですが、当面、会の方針として、会報は年2回、全員に配布しております。若い会員はまだ物心両面で余裕がありませんが、将来的には大事な会員と考へている次第です。事務局)

◆田中 信二(49) 体調優れず失礼します。

◆銭沢末治(49) いつもお世話様です。会の発展を祈ります。

◆鶴見慎一郎(49) 関東49期会では3年前から年3、4回の散策を楽しんでいます。都内旧跡、鎌倉、横浜、川越などの近郊、17、18人くらいが参加。終了後現地で軽く懇親会一杯、これが狙いと言ふ人も少なからず。最近健康の話題が増えてきたのは古希と言ふ年の故かと思っております。

◆堀内寅次(49) 今年も盛大に出来すよう祈念いたします。同期も出来るだけ多く出席したいと思ひます。

◆田中柳一(32) 冥土の旅の八十八里塚までやってまいりました。めでたくもあり、めでたくもなし、といった心境です。些か疲れ、辟易としていますが、常欠の業情深謝いたします。余す道程頑張るしかありません。ギャター、ギャター!!!

◆清水信(32) 至極元気です。もう何もしていません。自宅近くのケアーハウス「ジョン」で暢気に暮らしています。

◆宮崎光邦(32) 糖尿病も正しくインスリンを打ってれば長生きできるもの。7月28日で88歳となります。ゲートボールで体力、囲碁で脳の働き、老人クラブで人との付き合いをしています。



◆花岡 潔(49) ご苦勞様です。総会の大成功を祈念いたします。

◆大石和夫(49) 現在東京スポーツ用品卸商協組の非常勤理事。スポーツ用品業界の総合見本市の主催者業務を担当しています。

◆井出藤壽(50) 今年は総会懇親会に参加したいと考えておりましたが、他の行事と調整つかないので年会費だけ振り込んでおきます。(有難うございます)事務局

◆秋山忠利(50) 永年お世話になりました。過去を忘れてたく退会します。今後も盛会でありますよう祈っております。(誠に残念ですが、長年ご協力有難うございました。)

◆小山治彌(50) 実は1988年に脱会の意思をご連絡いたしました。但し過去2年分(400円)の会費は本日納入させてもらいますので、これにて、御了承下さい。(長年ご協力有難うございました。残念ですがご意志お堅いので退会手続きしますが、今回は会報お送りいたします。事務局)

◆尾台 久(50) 勤労福祉会館は14年3月退職。木曜、金曜日は寺子屋、家庭菜園とグラウンドゴルフ、月、水、土、元氣です。

◆久保田滋(50) 毎日が日曜日。近くの相模川を眺めて過ごしています。皆様方のご活躍を祈っております。

◆永 六輔(50) 土曜日総会。は残念!

◆滝澤王計(50) 都合により欠席いたします。ご盛会をお祈り申し上げます。

◆中島 宏(51) 連絡などは、メールのある会員はメールで流してはと思います。(連絡方法が多岐にわたると、事務処理がかえって煩雑になりますので、当分はハガキ一本でご了承下さい。メール所有者が増加する将来には検討すべきと思います。事務局)

◆浅野井 哲(51) 当日は関係している団体の行事があり欠席します。

◆成澤誠司(51) 出席の予定で○印していたのですが急に仕事の都合で欠になりました。不悪お許しの程を。

◆保坂利勝(51) 事務局の仕事ご苦勞様です。(いつもご協力有難うございます。事務局)

◆中山隆雄(51) 都合が悪く出席できません。ご盛会を祈っています。

◆中澤良行(51) 当日所用がありどうにも参加できません。多くの人が集まり盛会をお祈りします。

◆小林貫一(51) いつも会報有難うございます。皆さんに宜しく願います。

◆堀内照雄(51) 今回を以って高齢と病氣治療のため退会させていただきます。なお会費未納分として3万円振り込みしました。いろいろお世話になりました。(会費有難く受領いたしました。ご退会される由ですがまだまだ頑張っ頂きたいと思っておりますので会報はお送りします。)

◆八木浩輔(51) 4月より改組された、浦和大学総合福祉学部教授及び新管理職Faculty Development部長として忙しい毎日です。新入生の卒業まで教授は責任を持つので定年は4年先のびましたが、これも天職と思っ若い学生達と楽しくやっております。

◆久保治良(52) 96年茨城県を定年になりその後2000年まで上野にかよいましたが今はのんびり過ごしています。

◆武半正一(52) 現在静養中(循環器のため失礼します。会費15年度分を払い込みます。)

◆宮島廣人(52) ご盛会を祈念しています。

◆小山亮志(52) 例年のように英国へ移動しますので総会に出席できません。英国南西部デヴォンの小邑でのスローライフがだんだん長くなり、精神衛生に悪い日本の暮らしいろいろ考えさせられます。

◆須藤尚彦(52) 完全引退無職、年金生活に入りました。ご盛会を祈ります。会費H23年まで払いこみました。(有難うございました。)

◆堀内忠久(53) この頃は期待を持って会報を開封します。今回も期待に違わない力作でした。井上編集長初め関係者の努力に感謝します。特に座談会の若い諸君の熱意が伝わり出色でした。同期生が集まると同窓会の将来に不安があるやの話がでますが、今回座談会を読み、そんな不安も一掃されました。現役諸君大いに励んでください。

◆須田武久(53) 大変お世話様です。新聞の個人別会費明細とつても良く出来ています。

◆小泉勝夫(53) 都合により欠席します。事務局の皆様には大変お世話になります。未だシルク博物館で働いております。

◆土屋隆(53) ご盛会を祈ります。

◆増田隈雄(53) 他用と重なり出席できません。

◆渡辺百枝(53) 健康に感謝しつつ登山を楽しんでいます。今夏は雲の平に行きたいと思っっています。

◆寺西 孝(53) デフレ不況の中頑張っております。ゴルフ、旅行などで楽しんでおります。

◆懸川文夫(53) 会費の納入状況が文書で通知されいっまで納入したかわかりやすくなった。(今後ともよろしくお願いたします。事務局)

◆塚田 靖(53) 東京学芸大学退官後、尚美学園大学に勤務して4年が過ぎました。

今、私学はとて大変で音楽表現学科長として頑張っています。12日は公務出張のため欠席いたします。

◆柳沢浩二(53) 同窓会報いつも楽しく又懐かしく拝見させて頂いております。皆様のご苦勞心から感謝いたします。2001年7月1日に定年退職しました。P ANA M U N I T E D 計40年間良く働きました。健康で本当に良かったと思っます。

◆飯島秀也(53) 毎日利根川を越えて古川まで通っています。利根川を渡るときはこれぞ関東平野という景観です。

◆田村 朗(54) 特別企画座談会記事で74期以降の若い後輩の皆さんが各界で活躍されているのを拝読頼もしく思いました。野球はじめ各スポーツ界でのスターも出現する事を念じています。母校とそのOBが文武両道に一段と輝く事を期待します。

◆斎藤智巳(54) いつもお誘い頂きながら欠席ばかりで申し訳ありません。体調が今ひとつ良くないので回復したら出席したいと思っます。事務局の方々のご苦勞感謝しております。

◆古見喜八郎(54) 最近は同期会に出るようにしています。☺Eメールやインターネットも光ファイバーに切り替えて快適な環境が備わって来て、いながらにして親しいもの同志、新しい友人との交流ができます。

◆宮本昌憲(54) 総会当日は上越市に出張になってしまい欠席します。諸氏に宜しく。

◆宮崎武勇(54) 出席の心算が先にゴルフの予定が入っております。

欠席します。皆様に宜しく。

◆花房伸吉(54) 今年の3月退職し、毎日が日曜日の生活に入りました。江戸川の土手歩き、河川敷でのゴルフ練習、読書を日課としています。

◆神津勝重(54) 6月25日付けに完全にリタイアしました。

◆八木繁実(54) 幹事ご苦勞様です。

◆河西秀夫(54) 当日法事が予定されてお欠席。54期の皆様によりしくお伝え下さい。

◆足立忠一(54) 体調崩し静養に努めており失礼致します。

◆皆瀬森夫(54) 7月8、14、利尻島、礼文島に行きますので総会は欠席します。会の益々の発展をお祈り申し上げます。

◆小市則夫(54) 昭和32年から関東同窓会に参加し、いろいろ見てきたが、矢嶋さん、神野さんと鬼籍に入り知る人は殆ど過去の人になりました。新しい関東同窓会の発展を祈念いたします。

◆山崎茂幸(54) 今年は所用で欠席します。又の機会にお会いできること楽しみにしております。

◆宮崎利夫(55) 初めて参加させて頂きます。よろしくお願い申し上げます。

◆堀内良幸(55) 自宅でH14年4月より営業堀内人事制度研究所を始めました。

◆遠山武彦(55) 6月7、8、伊香保温泉で8組のクラス会、ゴルフ2組、18人参加。京都、上田、長野、小諸、丸子からも参加と人数もまずまずで他のクラスの人々も驚いています。12日は同期の池野君がシンガポールから帰国したので鶴ヶ島でプレー。

同期の池野君がシンガポールから帰国したので鶴ヶ島でプレー。

7月の大会参加PRします。

◆土屋 務(55) 65歳になりました。東村山から介護保険被保険者証なるものが送りつけられてきましたがまだまだ元気です。片道1時間半をかけて航空保安研究センター(新橋)へ通勤しています。70歳ぐらいまで頑張る心算です。

◆宮下衛之(55) 定年後5年目を迎えました。将棋、ピアノ、ジョギング、家庭菜園などで過ごしています。

◆滝澤 譲(55) いつも会のためお世話頂き有難うございます。

◆横山征三郎(55) 元気ハツラツ、毎日楽しくやっております。

◆萩原勝海(55) 15年3月31日付けを以て退職し毎日が日曜日の生活にはいりました。

◆伊藤典久(55) 勤務先が変わり(理研システム開発)新しい仕事の立ち上げのため今回は欠席します。

◆成澤裕介(55) ご盛会を祈念いたします。

◆和田 守(55) 都合悪く欠席します。

◆滝澤 健(56) ご苦勞様です。会報の母校便り小山校長が社会講座への期待を表明されていますね。何よりです。

◆関 明夫(56) 平成11年ミツシ(株)を定年退職し現在、(株)山一情報システムに勤め派遣社員として日立製

作所にアウトソーシングの仕事に携わっております。

◆河合祥雄(56) ご苦勞様です。第69号上田会報座談会記事は面白く拝見。

◆上原清治(56) 当日は出来る限り大勢出席が望ましいと思ひ連絡します。(ご協力有難うございました。..事務局)

◆岡田建治(56) ご無沙汰しておりますがお蔭様で元気です。お祈り申し上げます。

◆花房育夫(56) 盛会を祈ります。

◆松瀬勝雄(56) 都合により欠席します。総会通知を頂き有難うございます。

◆風間英信(56) 所用あり欠席すみません。

◆関 健二(56) 会報懐かしく拝見しました。小生のよう

に退職して4年目、第2の職場で働いている方も多いと思

います。富士見市教育相談研究室で子供のLD/ADHD担当で

父母や先生方と子どもの支援の方法を探っています。56期の皆さんに宜しく。

◆新沼惇雄(56) 会費の未納状況をよくわかりました。基金を一口出す事にしました。(ご協力深謝いたします。..事務局)

◆中村 勉(56) 7月11・12日は信州へ行く用事があり残念ながらお手伝いできません。

◆藤沢行雄(56) 4月末に福岡を引き揚げ毎日日曜日の生活しております。総会は所用のため欠席、56期生の幹事年に協力できず申し訳ありません。

◆河西邦彦(56) 7月12日は亡妻の7回忌法要のため欠席させて頂きます。

◆甲田洋二(56) 7月14日オープン個展準備のため欠席予定です。宜しくお願ひします。(総会資料表紙有難うございました。..事務局)

◆吉池鴻允(56) 務めも終わり当番期の今回は初めて参加しお手伝いする心算でしたが郷里に用事が出来たため残念ながら欠席します。

◆宮坂 卓(56) いつもお世話になり有難うございます。当日は悪しからず欠席させて頂きます。

◆内海章緒(56) 仕事の関係で出席できません。皆様宜しくお願い。

◆岡川章夫(57) 定年退職後昨年コンサルタント会社を設立しました。製紙業界と関連会社等の技術コンサルタントをして、今まで蓄積した技術を少しでも役に立てればと思っております。当日は米国出張のため欠席します。

◆伊藤宏二(57) 会費滞納してすみません。せめて多少の基金と前納会費をお支払いしました。現役多忙で相変わらず欠席申し訳ありません。(多額の会費と基金有難うございました。..事務局)

◆松田光一(57) 57期の2組です。宮坂仁吾先生のお名前から「仁吾会」と名づけ毎年10月第2土曜日に上山田温泉

清風園で集まっております。一昨年は12名昨年は15名が集まり旧交を温めております。今年は20名ぐらいの方々と会いたいと願っております。暫くは私が幹事をしようと思ひます。(幹事頑張ってください。..事務局)

◆渡辺静雄(57) いつもご苦勞様です。当日は出張のため欠席します。

◆畑 勲(57) アメリカで7年生活し、日本を外から見ることが出来ました。「不条理な社会規範」あるいは「お役所仕事」、さらにはお役人が自分でルールを作り、お金が自動的に入るように、既得権を社会の末端まで組織的に守る仕組み、ITと言いつつながらデビットカードが使えない社会、e各界に豊富な人材のいる上田高校から、この社会を改革するようなりダーが出来ませんでしょうか?

◆飯島辰夫(57) 《損保ジャパン代理店》となりました。大学の同窓会と重なり欠席します。

◆坂口武久(57) 退職し、「主夫」生活中心です。上田高校同窓会と関東同窓会の関係がもう一つよくわかりません。(疑問をお持ちの方が少なくないので、11ページに記事を掲載しました。..事務局)

◆金井 久(58) 6月でエフシージー総合研究所を退職しました。これまで大変ご迷惑おかけいたしました。

次の生活のために奔走しております。

◆林 嘉市(58) いつもご苦勞様です。久し振りに出席させていただきます。

◆西沢益男(58) 7月より丸三証券の社外取締役として新しいスタートを切りました。

◆佐藤義男(58) 非常勤顧問に退いたため、東京から伊豆高原に移りました。

◆宮島武源(58) 盛会を祈念しております。

◆柴田哲男(58) 幹事ご苦勞様です。

◆木下峯夫(59) 1997年に木下と改姓(旧小竹)しました。総会は海外出張のため欠席します。

◆相木弘美(58) いつもお知らせありがとうございます。平成12年より療養中です。会のご発展を祈ります。

◆関根克郎(旧姓倉升)(59) 当日は夕方まで抜けられない所用があり失礼します。

◆土屋 哲(60) 幹事の皆様いつもご苦勞様。年会費で協力させて頂きます。(有難うございます。)

◆橋本隆弘(60) いつもご連絡厚くお礼申し上げます。残念ながら都合により欠席します。

◆今井勇雄(60) 本年3月31日定年退職しました。現在は年金暮らしにて候。今年は今一度じっくり自分を見つめなおし、再出発の力蓄えるべく精進したいと思っております。再見

情報処理サービスの

システム技研株式会社

代表取締役社長 清水 通男 (66期)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-34-1

TEL 03-5272-8830 FAX 03-5272-8836

ホームページ <http://www.s-giken.com/>



て良かったです。(早速の納入有難うございました。)

◆下里 剛(60) 日本及び世界各地での勤務を終え2年前にようやく関東に落ち着きました。6月19日東京三菱より会費5年分振り込みしました。(確かに受けました。)

◆高橋至誠(61) 2年前参加の時には同期の人が少なく、特に同級生は全くいなくてがっかりしました。今回は現役最後かもしれないので参加することにしました。(参加有難うございました。)

◆清水正陸(61) 航空自衛隊退職後2年目に入り民間(川重)での勤務(痛勤)にも大分慣れました。

◆笠井徳爾(61) 実行委員当番期なので少しもお手伝いできればと思います。(協力有難うございました。)

◆井上希代子(61) 当日のお手紙に依頼、出席へのお誘いの手紙を関東在住の同級生、女性に出しました。(協力有難うございました。)

◆大沢義隆(61) 直前まで返信の差出が遅れて申し訳ありません。久し振りに出席します。

◆宮島英紀(61) お役目とは言葉が大変なお仕事、心より感謝しております。(今後とも宜しくお願致します)

◆坂井英樹(61) 定年を1年前倒して退職いたしました。来年の遷居を前に残り人生の生き方などを1年かけて考えてみようかと思っております。年会費は基金一口をとりあえず送らせて

頂きます。(有難うございました。)

◆萩原聖巳(61) 取りまとめご苦労様です。

◆田島善光(62) 62期懇親ゴルフコンペ5月31日軽井沢72で企画しましたが生憎の台風4号で7ホールでギブアップになりました。当日上田在住組の同期会が上田清風園で開催され合流しましたので信州入りは無駄になりませんでした。40数名の参加で盛況でした。

◆岩井重一(62) 7月12日は生憎箱根での会合と重なり出席できません。ご盛会お祈りします。

◆真山隆夫(62) 昨年10月から静岡支局長(共同通信)として単身赴任中です。

◆秋田 勇(62) 7月12日は他の予定あり出席できません。来年は私どもの当番です。必ず出たいと存じます。今私どもの仕事(旅行業はSBSの問題で売上げが激減して頭が痛いです。)

◆市村光志(62) 上田にこの時帰省しており参加できません。皆さんよろしく5月31日に62期初めての総会が清風園で行われ40名参加しました。

◆朝沢 智(62) 7月1日より15年間の単身赴任が終わり本社勤務で自宅から通う事が出来るようになりました。(新潟での長い単身勤務ご苦労様でした。)

◆田中 稔(63) 石井会長と同じ職場(住商リース)で

働く事になりました。

◆川村恭司(63) 6月7日に関東の同期会を開催します。会費、総会出席等について依頼しますが若干の効果はあるかと思いますが、あまり期待はしないで下さい。(宜しくお願致します)

◆大井俊彦(63) 私事2002年3月31日にて東芝を定年退職いたし、現在フリーです。

◆野村 一(64) 今回初めての参加をさせて頂きます。(有難うございます。今後ともよろしく)

◆山崎 一郎(64) 子会社に出向し経営の面白さを満喫しています。(？) サラリーマン生活もあと僅か最後の頑張りところです。

◆春原和民(64) 高校時代に熱中した剣道を生涯の友としています。中々上達はしませんが。

◆一場美智子(64) お返事が遅れて申し訳ありませんでした。(主婦でいろいろお忙しいと思いますが、暇を見て参加してください。)

◆柳沢光美(65) (柳沢様..) つも会費ご協力有難うございます。政治関連では此処ではご協力できませんが、頑張ってください。

◆上原 昇(65) 会報69号での会費納入一覽はスペース的にも大迫力でインパクトありました。会費増収対策メンバーとして責任を痛感している所です。(一挙には難しいと思います。気長にやってみましょう。)

◆柴田正文(65) 現在単身赴任中(長岡税務署)です。

◆成澤文和(65) 生憎当日は横浜にて親戚の会合あり出席できません。なお今秋の中南信支部総会(於松本)には支部を立ち上げた一人として出席しようと思っております。(貴兄の松本でのご尽力ぶり、同支部会報にて拝見しております。関東同窓会にも是非ご協力ください。)

◆山浦敬夫(65) 年会費未払いしております。誠に申し訳ありません。改めて納入させて頂きます。(確かにお受けいたしました。有難うございます。)

◆丸山暢久(65) 昨年初めて総会に出席し、懐かしい方々にもお会い出来ました。この様な組織が定期的に開催されている事すら全く知らなかった為です。夜の65期総会にも参加し昔を思い出しました。今回は都合により65期総会(二次会)のみ参加します。

◆今井郷子(66) 当番期ですが当日抜け出せない用事があり欠席します。清水君始め皆様に宜しく。

◆北澤英男(66) 申し訳ない。清水通男君を宜しくお願いたします。

◆駒津敏洋(66) 66期の竹内進君のことですが最近どういう訳か同窓会の連絡がなくなってしまうと言って嘆いております。ご確認ください。(竹内進さんの住所は以前と同じと思いますが当日はご出席いただきました。持つべきものはこうして心配してくる友達ですね。)

◆清水通男(66) 会費の振込用紙の欄に「寄付」欄を設けてはどうでしょうか。これが無いので3000円とか5000円とかは振込みしづらいです。(提案有難うございます。今回よりそのような変更いたします。)

◆水島良子(67) いつも会報有難うございます。

◆熊坂文成(67) 盛会を祈念しております。

◆石田雅夫(67) (国分寺に) 転居いたしました。

◆田中啓子(67) 遅くなつて申し訳ございません。主人が出席できるそうですので私も日程を調整してお伺いさせて頂きます。お友達を誘っている時間がなく何も判りませんが宜しくお願ひ申し上げます。

◆清水龍夫(69) 総会・懇親会に初めての参加になります。親会に初めて参加になります。当日はご出席頂きますが宜しく。楽しみにしています。(当日はご出席頂きます有難うございます。)

◆山村由紀子(69) 子供達のおかげで学費仕送り、お力未だ有るので体が力50年と言う歳月がスリッ!故障だらけの体ですが皆様のメッセージが私を元気にしてくれます。(まだまだお若いとおもいますよ!次回はぜひ出席してください。)

◆中山長年(70) 住所変更。◆大塚次夫(70) 不幸があり返信が遅くなりまして済

松井 歯科

院長 松井 由布子

& 松井由美 (62期)

長年にわたる大学の医局や歯科医での勤務医としての経験を生かし、念願でありました歯科診療所を開設致しました。

“健康があなたを救う時代”といわれています。その基になるのは歯だと信じています。子どもさんからお年寄りまで、多くの方々の健康づくりのお役に立ちたいと念じております。

杉並区桃井4-4-7日興パレス西荻窪1F
Tel.03-5382-6700 西荻窪徒歩10分



みません。(お悔やみ申し上げ

ます。群馬在住で総会出席は

大変かと思いますが機会があ

りましたら一度参加下さい。)

◆高橋和江(70) 東京を引き

払い帰郷(小諸)いたしました

。関東在住ではなくなりまし

た。(会報お送りしますが、

ご返事下さい)

◆伏見則幸(71) 6月1日付

にて福岡へ転勤になりました

。 (宜しければ会報お送り

しますが、ご返事下さい)

◆浅川 隆(71) 住所変更。

◆関 雄二(72) 昨年12月か

ら《あいおい損保》子会社に

出向しました。

◆柏木敬子(72) 住所変更。

◆関 博明(72) 今年も欠席

です。広島から会の益々のご

です。

◆増田則夫(78) メールアド

レスが変更。海外出張前です

ので7月12日は欠席いたしま

す。(座談会参加有難うござ

いました。お仕事頑張って下

さい。)

◆樋口芳彦(78) 自宅住所、

電話、勤務先は非公開で願

いします。プライベート保護

については特段のご配慮願

い致します。(同様の意見

が多々あります。会員データ

は外部には繋がらないノート

パソコンにて幹事長が管理し

ておりますが、発行済の名簿等

は業者等に収集されている現

状もあるようで、残念です。

Q&Aご覧下さい。)

◆渡辺 博(78) 今回も参加

◆堀田きよみ(82) 済みませ

ん。又遅くなってしまいました

。どうぞ宜しくお願い致し

ます。同窓の皆さんにお会い

できるのがとても楽しみです。

◆竹内信彦(83) 住所変更。

なお会費を3カ年分三井銀行

にお振込みいたします。

◆和田恭子(83) 主人の転勤

により5月転居しました。

◆山本 寛(86) 毎年出席し

たいと思いがら勤務先の業

務都合で失礼してはいますが本

年度は出席できそうです。

(会費と参加有難うございま

した。貴兄が今回の会員参加

者の内で最若年でした。)

◆倉沢英里子(86) 自宅住所

変わりました。

◆青木一也保護者(95) 拝啓

◆三井 聡(99) 今年は授業

があるので出席できませんが

来年は是非とも出席したいと

思います。

◆山岸麻悠美(101) 保護者、

麻悠美の母です。この度はお

便りありがとうございます。

宜しくお願い申し上げます。

(基金並びに年会費お振込み

頂き有難うございました。)

◆工藤主税(101) 欠席させて

頂きます。(会費納入有難う

ございます。)

心よりお悔やみ
申し上げます。



『会報をお送り頂き有難うございます。高齢
で出席できず申し訳ありません。(以下奥
様：此処までは本人の自筆です。実は主人
は7月29日に亡くなりました。故人の生前に
は大変お世話になりました。厚くお礼申し上げ
ますと会費は未納のようですね。お許し
下さい。なお少しばかりですがお送りしま
す。お納め下さい。』(1万円確かにお受け
いたしました。有難うございました。総会
はご存命の12日でしたので本当に残念です。
心からご冥福をお祈りいたします。編集部)

- 折田 義雄(42) 15年2月13日
- 金子 健(44-4) 15年1月29日
- 南沢次雄(44-4) 13年9月12日
- 阿部盛次(44-4) 14年12月25日
- 清水武彦(44-4) 14年11月8日
- 城下 幸雄(49) 15年3月8日
- 小林 恒彦(49) 15年2月8日
- 大久 保寛(49) 15年4月15日

ご子息より次のお言葉を頂いております
『父大久保寛儀平成15年4月15日享年71歳
にて永眠いたしました。これまで会報等送
りいただきまして生前のご厚誼を感謝いた
します。父は上田高校を誇りに思い、いつ
も思い出話を聞かされておりました。今後
とも上田高等学校、そして同窓会の益々
のご発展を祈念いたしましてお礼の言葉と
させていただきます。』
(ご冥福をお祈りいたします。編集部)

小林俊幸(50) 14年10月
(1万円確かにお受けいたしました。有難う
ございます。ご冥福をお祈りいたします。
編集部)

塩沢 武 (51) 15年2月13日
大井 隆利(53) 13年10月19日
依田 茂久(58) 14年11月11日
堀内 利晃(98) 15年4月15日
母上様から次のお言葉頂いております。
『雨上がりの緑が美しい季節を迎えました。
いつも同窓会報有難うございます。長男利
晃(98期)4/15死去。お世話になりました。短
い一生でしたが精一杯生き親孝行な息子で
した。大学では上田高校の自慢話をして
いたようです。在学中ボクシングでインター
ハイにも出た子です。運命の時を迎えま
した。連絡差しあげないと。母静子より。か
しこ。』
(ご心中お察しいたします。心よりご冥福
をお祈りいたします。編集部)

会員訃報

塩まさる (本名正吉) (24)
平成15年10月16日

95歳。現役最高齢の歌謡
歌手。37年、国鉄職員から
歌手に転じ、戦中は「九段
の母」など軍事歌謡を歌う。戦後は隠れ
た昭和史を歌にして伝える活動や老人の
ための福祉歌謡を展開。97年に日本レコ
ード大賞功労賞を受賞。(読売新聞・毎日
新聞の記事より転載)

- 後藤 政一(25) 平成7年7月
- 清水 俊一(27) 14年
- 池島 雄三(32) 15年1月18日
- 宮下 重一(34) 15年2月24日
- 柳沢 義房(35) 15年5月27日
- 田中 八郎(35) 14年2月15日
- 掛川 重義(36) 15年4月19日
- 松井 智明(36) 14年12月
- 坂本 史郎(37)
- 滝澤得一郎(38) 7年3月
- 丸山 英一(40) 8年12月2日
- 上野 豊重(40) 10年12月5日
- 吉田 光輝(40) 14年2月26日
- 村瀬 均(40) 14年8月
- 境沢 正人(40) 15年7月29日

ご本人の絶筆と奥様から次のようなお
言葉頂いております。

会員短信Q&A

投書の中で以前から、下記に関する疑問が度々寄せられておりますのでこの度まとめてお答えいたします。

Q 最近、会社、自宅に上田高校関係者と名乗り、不動産、先物商品の販売、勧誘の電話があるが、当会の名簿が流用されているのではないかと、管理はどうなっているのか。(◆甲田輝久(83)、◆羽毛田 信(60)、◆北村尚巳(58)ほかの皆さん)

A 現在、会員の皆さんのデータは、外部とは一切リンクしない独立したノートパソコンに登録されており、歴代の幹事長が責任を持って保管、管理しており、一切外部に漏洩されることはありません。又、メールアドレスも事務局よりの直接の連絡(同窓会ゴルフコンペ勧誘等)以外、少なくともご本人の了解なしには、部外者には一切、リークいたしません。しかし、過去作られた会員名簿や、母校100周年を記念して作られたCD-ROM、或いは、母校上田同窓会の会員名簿などはかなりの数がすでに配布されており、何かの理由で外部の業者の手に渡る可能性は皆無とは言えません。ご存知の方も多いと思われそうですが、名簿の図書館と称して、会社、団体、大学、高校、その他、ありとあらゆる名簿を専門に集めている業者も存在しており、特に上田高校など、歴史のある学校程、業者に狙われる現実があります。会員の皆様におかれましても、お互い、名簿類の管理は十分お気をつけ頂きますよう、お願い申し上げます。

Q 上田高校同窓会(本部)と関東同窓会(関東)との関係がもう一つよく分からないし、年会費についても両者の関係が良くわからない。(◆下形晃一(53)、◆坂口武久(57)、他の皆さん)

A 先ずご理解願いたいのは、この二者は別個の組織であるということです。

上田本部は、1925年(大正15年)に設立され、昭和35年に、文部省管轄の社団法人格を取得している同窓会です。規約により1万円を入学時に会費として収め、卒業生は終身会員となります。また、これとは別に同窓会館維持を目的とする“維持会費”を一口2000円として、東洋信託(現在のUFJ銀行)に4万円を信託し毎年2千円を自動引き落すシステムを採用しています。但し最近は金利低下に伴いこの方法は機能しなくなっており、年会費として別途徴収されることになり、各位に納入依頼されている筈です。平成12年4月現在

(2000年)卒業生総数30,818名、生存名簿在籍者26,532名です。

これに対し、関東同窓会は、昭和21年に母校が2回にわたり不審火により焼失した際、この復興のため当時関東地区に在住していた同窓生に対し資金カンパの要請があり、これを契機として、在京同窓生有志により昭和23年に上田松尾高等学校同窓会東京支部が発足しました。当会はこれを母体とし、その後、様々な紆余曲折がありました。昭和32年母校野球部の初の甲子園出場などもあり活動が活発化し、昭和59年(1984年)、上田高等学校関東同窓会と改称、本部とは独立した組織となり、現在に至っております。会員組織は具体的には、関東地区(原則として、一都六県)在住者を組織化しております。具体的な活動内容としては、過去2回にわたる母校野球部の甲子園出場、また母校の創立80、100周年記念などの機会における独自の募金活動や、パソコンをはじめとする学習教材の寄付等、母校への支援活動。また、会報の発行や総会の開催等による会員相互の交流を行っております。当会を拠り所とした、有志会員組織の松尾倶楽部による年数回の講演や、各卒業期の同期会、同級会などの活動の基盤として現在6000有余人を擁する団体となっております。

特記したいことは、年2回にわたり、会報“うえだ”を過去数十年來発行し続け、現在70号を数えるに至っている事であり、1回に約8000部を印刷し、上記会員全員のほか、母校学生、教員の全員、本部、支部会員等に無料配布しております。会員有志のご支援により、毎号有益な内容が盛沢山で、好評を頂いており、謂わば、関東同窓会の“顔”または“会旗”のような存在となっております。但し、この発行費用は一回、約120万円前後(郵送料込み)を要し、皆さんからの会費を充当しております。しかし、現在会費を納入して頂いている会員数は約600人前後(全体の8~9%)であり、この大半の会員が複数年の会費を前納していただいていることで、その費用が何とか間に合っているのが現状であります。今後もこの会報を存続させるため、また「母校へのOB社会講座」等の関東同窓会の活動を維持するためには、できるだけ大勢の会員の皆さんからの会費を頂く事が必要であり、ご理解とご支援を頂きたくお願い申し上げます。

同期会レポート 【48期】 関東地区同期会が11月15

日、一ツ橋の日本教育会館で開催された。上田から宮坂啓啓、渡辺新一の両君を迎え57人が参加した。今年年男の75歳だがみな元気。飲むうちに語らいが白熱し意気軒昂である。時の過ぎるのを忘れ、再会を楽しみに散会した。(山崎延秋記)

【61期】 卒業40周年の同期会。11月15日、新宿プリンスホテルに41名出席。各人の近況報告や思い出話に昔の面影がよみがえり楽しい時間を過ごしました。最後に麦島(森川)さんの伴奏で久しぶりに校歌を歌い、関さんのリードで「フレ・フレ」と全員の健康と幸せを祈願しました。これからは定期的開催

し、多くの人に集まって頂きたいと思っています。(三井記)

【63期】 秋葉原・ワシントンホテルで二回目の同期会。前回より12名多い51名が参加。名前と若き日の面影とを比べようとするため、失礼ながら驚きの大きな声があいさつよりも先。会は西村耕三君の司会で進み、クラス単位に近況報告など楽しいひと時を過ごした。最後に北沢昌規君のリードで校歌、応援歌を歌い散会した。今回は案内状の送付など大変、山浦善樹君にお世話になりましたが、後日談として「来年も同じ時期に開催、しかも同期生全員に案内状を出す。」ということになりました。多くの方が参加して下さることを期待しています。

同期会予告

60期 我々60期も耳順を迎えこれから更に充実した人生を楽しむスタート時になりました。旧友達との邂逅を期し、喜び合い、今までの不沙汰を詫び、恩師の皆様に感謝の念をお伝えし、懐かしい故郷の山なみを観る同期会を計画しました。ふるってご参集ください。

期日 平成16年5月15日 15時頃集合17時開演

場所 信州上山田温泉清風園(宿泊可)

実行委員 黒澤美那子 甲田健 日置勇二 村上勝子
飯島隆 丸山寿雄 大久保利夫 川上知行

62期 62期は、過去5年ごとに総会を開催してきました。来年は卒業40周年目になり、今回は地元上田の要望もあり、全国の同期生を参集して都内にて卒業40周年記念合同総会を開催することになりました。大勢の同期生に参加を呼びかける予定です

期日 平成16年3月6日 15時~18時

場所 はあといん乃木坂(健保会館)

連絡先 代表幹事 岩井重一 03-5570-5671

(アクト法律事務所)

事務幹事 秋田勇 03-3442-4381 (株トラベルアイ)



滝澤 進さん 61期

北海道国際航空 (エア・ドゥ) 社長

札幌を象徴する時計台のすぐ裏のビルのワンフロアにエア・ドゥの本社はある。その一番奥の社長室に滝澤さんはいる。

訪れた時は昼の12時。滝澤さんはデスク横のテレビでニュースのチェック中であった。何事も起こっていないことを確かめてからソファに腰をおろした。いつも真面目で真剣な滝澤さん。東大三鷹寮で暑い夏の日も、ドアを開け放って一人静かに机に向かっていた氏の姿が今の姿にダブって思い出された。

エア・ドゥは平成8年、「北海道民の翼」とならんとし、約7500人の道民や地元企業の出資によって設立された。「規制緩和」という大きな流れの中で、低価格の運賃の提供という大きな期待を背負ってスタートしたが、大手との競争の中で利あらずして経営は破綻した。その再建の旗手として白羽の矢が立ったのが旧運輸省出身の滝澤さんであった。今、全日空との業務提携などによる経営改善を進める一方、7月に羽田・旭川線を就航させるなどの積極策などもうって再建は順調に進んでいるという。

社長として各種マスコミに出ることのほかに、いろいろ講演を頼まれることも多いが、「北海道のPRになればと思って」積極的に応じている。「北海道民の翼」は、地域に根ざした航空会社であると同時に北海道の発展のために設立された会社でもあるからだ。滝澤さんによって今「北海道民の翼」は「北海道の翼」に脱皮中である。

運輸省時代は陸運関係を担当していたが、84年から3年間オーストラリアの大使館に赴任した。当初は海運の振興等を考えていたけど、当時の日本は輸出超過の解消と輸入促進が課題の時代だった。石炭、羊毛、鉄鋼石の輸出から観光へのシフトをオーストラリアの観光担当部長らにアドバイスして回った。観光と航空は表裏一体の関係にある。7万人から30万人へという計画を立てたが、飛行機は当時週に6便しかなかった。日本の航空会社に増便を働きかけても、パイロットがいない、機が足りないにに応じてくれず苦勞した。しかし今は週50便、渡航者も60万人を越えている。この基礎を作る時代だった。



上田高校時代は、2年の後期に生徒会長。当時運動会みたいだった松尾祭をもっとみんなで汗をかけるものにしようと、スポーツ大会的にする試みもした。「部活動は直接しなかったけど、夕暮れのグラウンドで同級生、先輩、後輩がスポーツの活動をしている姿が胸に残っている。上田は、学問もスポーツも高いレベルで活動していた素晴らしい高校なんだという感じがした」と振り返っている。(井上・記)

「部活動は直接しなかったけど、夕暮れのグラウンドで同級生、先輩、後輩がスポーツの活動をしている姿が胸に残っている。上田は、学問もスポーツも高いレベルで活動していた素晴らしい高校なんだという感じがした」と振り返っている。(井上・記)

「部活動は直接しなかったけど、夕暮れのグラウンドで同級生、先輩、後輩がスポーツの活動をしている姿が胸に残っている。上田は、学問もスポーツも高いレベルで活動していた素晴らしい高校なんだという感じがした」と振り返っている。(井上・記)

松尾倶楽部

35周年記念誌6月刊行へ!

皆さんの原稿、お待ちしております

連絡先：編集委員会事務局

FAX 045-864-1664 宮島(55)

Mail mimiya@violin.ocn.ne.jp

リレー随想

点字と私

土屋 博 (47期)

10年前、40数年続けてきた小さな工場を閉じて廃業した。不況の先取りというのは負け惜しみだが、倒産ではなかったのがせめてもの救い。年中無休、盆・正月も無く、正月も早朝から夜遅くまで仕事に精出していた身が途端に毎日が日曜日。まず、ボケ防止に良いからと暇潰しも兼ねてワープロ教室に通った。工場の仕事を始めて間もなく機械で左腕を怪我して以来、左手は親指以外の4指が不自由である。右手だけのワープロ、人の倍の時間をかけ、受講料も倍近く払って何とか0.8人前位には打てるようになった。

さてその後はどうする。NC旋盤やフライスの機械仕事はもうやりたくないし、仕事一筋だったので趣味らしいものは何もない。ゴルフはできない、お絵かきのセンス無し、囲碁将棋には興味なし、ダンスは論外。自分のための趣味やお遊びでなく、ささやかでも人の役に立てるものができたらと、カルチャー教室の案内を見ると『手話』があった。でも片手では無理らしい。ならば『点字』はどうか、先生にお聞きしたら片手で出来るとのことのお話で、点字教室に通うことになった。9年前のことである。

以来点字の海に溺れて右人差し指の点筆ダコは何代目になるか分からない。新仮名遣いを学校で正式に習ったことはないが、い

(編集部注) 土屋博さんは、去年点字翻訳の技能士試験に72歳で挑戦、見事合格されました。この試験は超難関で、平成11年の開始以来、合格者は75人しかいないそうです。

つの間にか自然に覚えた。しかし、点字をやっていて一番のネックは文法である。60年前、大東亜戦争の末期に中学で勤勞奉仕の合間に教わった程度の力ではとても間に合わない。

毎日辞書に親しみ、子どもに買ってやった百科事典が今になって役立つ。時には図書館に行って調べる。この年齢で恥ずかしいが、漢字の読みや言葉の意味を間違えたり、不正確に覚えたりしているものが結構あり、それを調べて単に正しい知識として頭にしまいこんでおくのではなく、すぐに点訳に役立てる、つまり人のお役にたてる、こんなすばらしい事はないと思う。

3年前からパソコン点訳の勉強も始め、現在、手打ちとパソコン点訳の二つのグループに関わっているが、仲間は皆主婦である。しかも老齡の親を抱えてのボランティアが多い。家事と介護と点訳と両立どころではなく頑張っておられる姿に頭が下がる。彼女たちが点訳に全力投球出来るようになる日まで、老齡に鞭打ってツナギの役を果たしたいと思う。

幸い右手は、「つひに行く道」に出会うまで持ちそうだが、20年前に胃癌で切った残りの胃?が最近あまり調子が良くないのが一寸気がかりである。